

## 令和7年度光市地産地消プラン推進会議 議事録

日 時 令和8年3月18日（水）14時～16時  
場 所 光市役所3階 大会議室1・2号  
出席者 委員 25人（欠席 4人）、事務局 7人  
事例発表者 1人、傍聴 2人

### 1 開会

### 2 議長あいさつ

アメリカによるイランの軍事作戦が拡大化・深刻化し、今後世界的に物価高騰、生産資材の高騰の危機が迫っている。

この状況だからこそ、地域で生産された農林水産物を生産された地域で消費する地産地消の取組が大切で、価値ある活動と思う。

本日の会議では、光市地産地消プランの進捗評価の報告やグループトークを行う。忌憚のない議論を何卒よろしくお願いしたい。

### 3 委員紹介

事務局から委員名簿に沿って読み上げ紹介

### 4 議題

#### （1）光市地産地消プランについて

事務局より資料に基づいて説明

質疑応答等なし

#### （2）第4次光市地産地消プランの進捗評価について

事務局より資料に基づいて説明ののち質疑応答等

#### ●委員

食育に関心がある市民の割合や学校給食における光市産品の使用率について、どれだけ地元産を供給できるかという問題がある。地元のニーズの拾い方の事例があれば教えていただきたい。

●事務局

地元のニーズの状況は、まちづくり市民アンケートの結果に基づき、意向調査を行っている。

●委員

農業の合計生産量について、近況値（R4）が目標値（R1）より、大きく増えており目標値を超えている。この要因は何か。

●事務局

統計データの結果を引用している。調査の中身については、具体的な精査はできていない。

●委員

「里の厨」に聞いてみたい。農業生産者が減っている、新規農業就業者については、R3・R6と18人と変わっていない。生産者が少ないと生産量も増えることはない。農業生産者は、減っているのか、増えているのかを教えてください。

●委員

里の厨の出荷登録の人数をお伝えすると、当初は（市内の農業者）310名おり、令和7年度は261名となっている。

しかし、市外も含めると里の厨で出荷登録している農業生産者（出荷の有無問わず）350名程度は、把握している状況である。

里の厨では4年前から新規出荷者育成講座を立ち上げ、農業生産者の確保維持を図っている。令和7年度では、定員10名に対し、10名の応募があり、そのうち8名が新規の出荷者となった。農業生産者が減少傾向であるが、踏みとどまれている状況である。

●事務局

光市内で農業・漁業をする人を増やしていく必要がある。里の厨の取組のように、委員の皆さまには、ご意見をいただきながら政策を進めたいと考えている。ご協力をお願いしたい。

●委員

流通や消費の部分で、D評価が多い。例えば、里の厨を例に出すと、扱っている品目が少ないと感じている。午後に行くと物が少ない。生産量に問題があるのか、情報が消費者に届いてないのか。そのあたりはどうか。

また、どのあたりにうまくいっていない課題があるのか。

●事務局

里の厨の来客数は減っていない。地元食材の認知を今まで以上に市民の皆様知ってもらう必要がある。情報発信は、SNS等を活用し、取組を知ってもらうことを考えている。市としても、里の厨と協力し、認知向上に取組んでいきたいと考えている。

(3) 令和8年度光市当初予算(案)の概要について

(農林水産関連抜粋)

事務局より資料に基づいて説明ののち質疑応答等

●委員

地域おこし協力隊の活用について、具体的情報があれば教えていただきたい。

●事務局

地域おこし協力隊の募集をしたところ、名古屋市在住の20代女性から、取組の趣旨にご賛同いただき、応募をいただいた。着任後は、地産地消の推進や農業者との交流を図り、市内の農業振興についての取組を行っていただきたいと考えている。

また、里の厨とも連携を図り、農産物販売の促進を行うことでの地産地消の推進の取組も想定している。

●委員

いちご農家であり、エネルギー価格高騰対応中小企業者等省エネ対策支援事業やスマート農業機械購入支援事業には関心がある。

両親も高齢となり、家族だけで作業を行うには難しい面も多々ある。そのようななかで、機械や経費に対する助成があることは助かる。

●委員

令和8年度の取組からは外れるが、毎年、耕作されていない田畑は増えている状況が気になっている。どうにか活用できないかと考えるも、個人では限界がある。行政と連携して活用できるものがあればよいと考える

●委員

スマート農業機械購入支援事業には関心がある。農作業のなかで、特に夏の草刈が辛い状況である。急斜面でも刈ることができるラジコン草刈機が農業者共同で買えたらよいと思う。

●事務局

スマート農業機械購入支援事業は、農業の作業低減に活用できると考えている。代表者を決めていただき、申請を頂き、皆様と共同で使う形もよいと考えている。ぜひ前向きのご活用を検討していただきたい。

●委員

広報で掲載のあるような人数制限のある体験型の活動はあるのか。魅力を感じられるものを作ったらよいのではないかと

●事務局

里の厨を中心に農業体験研修を実施している。新年度も募集する予定であり、30名程度を想定している。少しでも農業に携わる方を増やしていく取組を行っていきたいと考えている。

#### (4) 地産地消の取組に関する事例紹介

「カンロ飴食堂のまち ひかり」プロジェクトについて

光市観光・シティプロモーション推進課 温品課長より資料に基づいて説明ののち質疑応答等

##### ●委員

カンロ飴を使い、市内で飲食物を提供する事業者がカンロ飴を使った特別メニューを開発し、提供する事業とある。市外から来た方が食べて、周遊するという取組はあるか。

『「物見遊山型」の観光から「稼げる」観光へ』について、もっと具体的に説明をしないとわかりづらい。スローガンだけでは取組を進めるのは、難しいのではないか。市民が行う中身を理解しなければ、参画することが難しいと考える。

##### ●光市観光・シティプロモーション推進課

周遊の仕掛けについて、市内各所を周るスタンプラリーを検討している。市内をめぐる仕掛けを考えている。

『「物見遊山型」の観光から「稼げる」観光へ』について、食とおもてなしは重要な観点になると考える。ご意見をいただいた市民参画について、どのように巻き込んでいくかは検討していきたい。

##### ●委員

チキンチキンごぼうは、学校給食から始まり、今では多くの人が食べるようになった。先日カンロ飴を使用した給食提供があったとの説明もあった。参加店舗に学校給食で提供のあったカンロ飴をつかった給食メニューを提供するのも良いのかと感じた。

光市がカンロ飴発祥という強みを生かし、地域名とおかし名を合わせた独自商品をつくるのがよいのではないか。

●光市観光・シティプロモーション推進課

飲食店の取組に子どもを巻き込むことは良いと考える。市内飲食店と相談し、実現可能かどうかは検討していきたい。

独自商品について、カンロ株式会社の経営方針もあるため、市の要望だけでは進めることは難しい。カンロ株式会社には、従前より、毎年高齢者施設に対しての飴の寄付を頂くなど多くの社会貢献をいただいている。今後も現在の関係を継続していきたいと考えている。

(5) グループトーク

【テーマ】地産地消や6次産業化を推進するために、自分たちの立場で取り組めることは何か

トークテーマの内容についてグループごとに協議を実施。

各グループで出た意見は以下のとおり。

●Aグループ

6次産業化を進めるうえでは、「原材料が必要」、「加工者の人手不足」が課題となる。農産物についても、気候変動により、従来よりも栽培期間が短くなるなどの問題も生じている。また物価高騰により、加工費や人件費の高騰も大きな課題となり、その反動は販売価格にも影響を及ぼしていると感じている。

●Bグループ

地産地消を進めるうえで、原材料となる農産物の量が足りず、要因として、農業従事者の高齢化及び従事者が足りていないことに繋がっている。どうすれば、新しい人が農業に取り組むかと考えると、現在農業をしている人の所得が高くなれば、目指す人も増えるのではないかと考える。

そのために、生産量の下がる夏場を乗り切るために、スマート農業機械購入支援事業を活用し、収入を維持することで1年間通して稼げる環境を作り、農業をしたいと思わせる環境をつくることが自身の立場で取り組めることと考える。

● Cグループ

市内におけるカンロ飴取扱店を増やす。

光の魚（タイやレンチョウ）とカンロ飴をコラボするのは、どうだろうか。また魚や農産物をつかった料理教室の開催も地元食材に関心をもつきっかけになると考える。

● Dグループ

里の厨について、市内産・生産者の顔がわかるようにディスプレイをしたらよいのではないか。また耕作放棄地の活用として草刈そのものをイベントとし、解消を検討する。

水産業について、生魚を捌くというものはハードルが高い。行政主体で、魚を加工品にする施設や取組を行うものを検討することはできないか。

5 その他

事務局から今後の予定について連絡。

第5期光市地産地消プラン推進会議委員の任期については令和8年3月31日までとなり、本日の会議が最後となる。委員の皆様には、貴重なお時間を頂戴し、本市の地産地消の推進と農林水産業の活性化にご尽力いただきましたことに改めて感謝申し上げます。

次年度以降は、第6期推進会議の発足に向け、必要な手続きをとっていく。その際には引き続き委員ご就任をご依頼させていただくこともあるかと思うが、その際はよろしく願いできればと思う。

今後も、地産地消の取組に引き続きご協力をよろしく願い申し上げます。

6 閉会